

クマに  
任せろ  
クマ!

あきがん個人誌

サークル  
くれじつと

ADULT ONLY





僕と彼女が  
出会ったのは

夏休みの間だけ  
過ごす事になった  
海沿いの町だった

少年

そんな所で  
何してるクマ?

え……  
秘密基地?



でも、もし  
海に落ちたら  
危ないクマ!

基地だったら  
安全じゃなきゃ  
駄目だクマ!

消波ブロックの  
隙間で遊ぶ子供

確かにコレは  
良識のある人間なら  
放置できないだろう

ザザ



もっと良い場所  
一緒に探して  
やるクマ!

くま  
球磨に  
任せる  
クマ!

だから  
人見知りの激しく  
無口で扱いの難しい  
この僕が初対面の  
彼女に従ったのは

ゴネて長引く方が  
面倒だと思ったからだ  
……他に理由なんて無い

じいっ



適当に相手して  
追い返すつもりが

彼女は意外に  
優秀かも知れない

なかなか  
僕好みの物件を  
紹介してくれた

ずっと前から  
目を付けて  
いたんだクマ

もう何年も  
放置されてる  
船小屋だクマ



着いた  
クマ

!!!



まあ、誰かに  
経られても

「危なっかしい  
少年が居たので  
監視していた」

とでも言えば  
多分、球磨だけは  
無罪放免だクマ

と言っても  
仲間なんて  
出来た事  
ないけど！



見た目の割りに  
しばらく人が  
入った感じは  
しないクマ

少なくとも  
この時点では  
感謝していた

この広さなら  
何人仲間が  
増えたって  
問題ない





初めて見る  
裸の女性の写真

しかしソレは  
黒くて毛だらけで  
正直グロかった

うわっ…  
おっぱいは  
大きいけど

アソコは  
ボカしてるけど  
何か汚いクマ…

うわ…

うわー

それでも僕は  
興奮していた

それはエロ本の  
内容にはなく



こーゆーのは  
まだ少年には  
早かったクマ？

ん？  
…ああ



「触れる距離に  
本物がある」

その事実が気が付き  
どうしようもなく  
興奮していた

…男のアレって  
こんな風に  
なるクマ…？



へ？

「女子の背中に  
チンチンを夢中で  
擦り付ける夢」を  
見た事がある、クマ？

当たらずとも  
遠からずと  
言うか…本能って  
すごいクマあ



コロコロ  
だクマ...

うっ...結局  
見せてしまった  
クマ...

ドキ

くまあ...

くま姉ちゃんの  
アソコはとて  
きれいだっ



え?

イヤイヤ  
お尻の穴じゃ  
ないクマ

この本じゃボケて  
見えないけど  
チンチンを入れる  
穴が女にはあって



はい?  
えと...

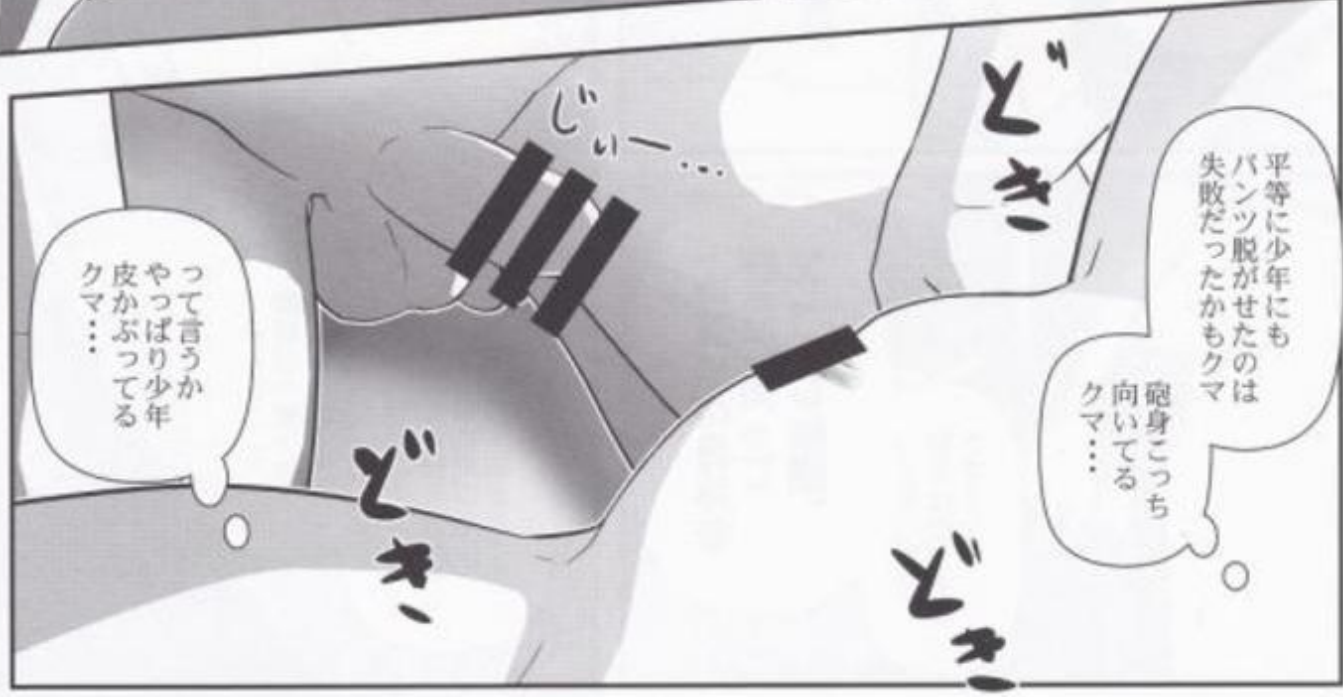
派手に球磨の  
見せるのは...



なっ!?

失礼だクマ!

この女と違って  
球磨はアソコは  
汚くないクマ!!



どき

いい...

平等に少年にも  
パンツ脱がせたのは  
失敗だったかもクマ

砲身こつち  
向いてる  
クマ...

って言うか  
やっぱり少年  
皮かぶってる  
クマ...

どき

どき



しかし…一応  
おつきくは  
なるんだクマあ

せ、精通は  
したクマ?

ほほお…  
「お風呂でムイテ  
ちゃんと中也  
洗ってる」…

いや、あの  
「せいけつ」  
じゃなくて  
「せいつう」…

…つまり  
エッチな事を  
考えながら  
チンチンを…

って、球磨は  
何言ってる  
クマ?

どきん  
どきん



…球磨のアソコを  
ガン見し続けてる  
エッチな少年に

特別な提案が  
あるクマ

「秘密基地に  
居る間だけ」  
ってルールで



「お互いの身体を  
好きに使って  
エッチし放題」

つと言ったら  
少年はどうする  
クマ…?



…状況  
整理するクマ

相手は…  
短期滞在で  
良好な関係  
にある少年

そんな少年と  
人気の無い小屋で  
二人きり…

現在はお互い  
下半身マツパで  
ホットな話題は  
性知識について

これは俗に言う  
「ひと夏の体験」  
フラグって  
やつクマ?

…だからって  
艦娘が一般少年と  
そくゆく事…

いや、でも  
この機を逃したら  
女の悦びも  
知らぬまま…

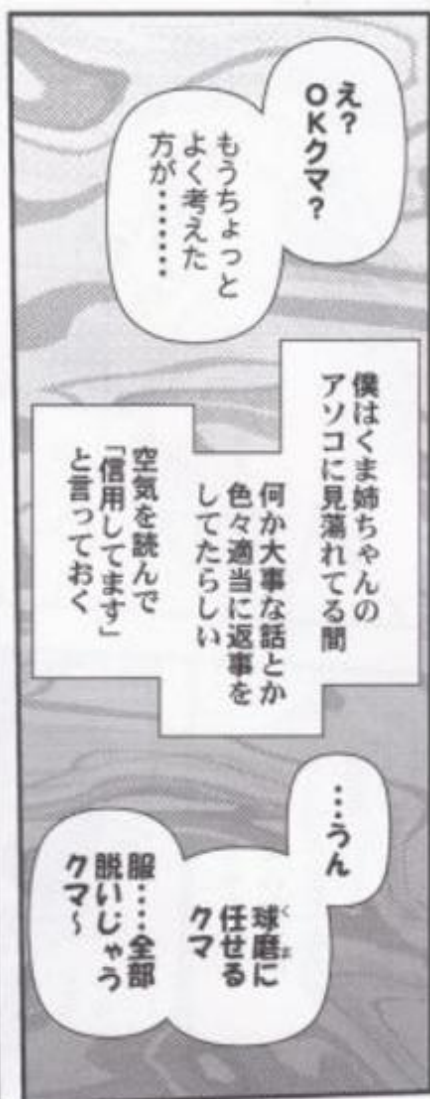


チンチンの  
先っぽを  
……そう

さっきの穴に  
あてがって

何か本当に  
おもしろ  
大事だった

そのまま  
ゆっくり前に  
倒れるクマ



え？  
OKクマ？

もうちよつと  
よく考えた  
方が……

僕はくま姉ちゃんの  
アソコに見落れてる間

何か大事な話とか  
色々適当に返事を  
してたらしい

空気を読んで  
「信用してます」  
と言っておく

……うん

球磨に  
任せる  
クマ

服……全部  
脱いじゃう  
クマ



皮が……

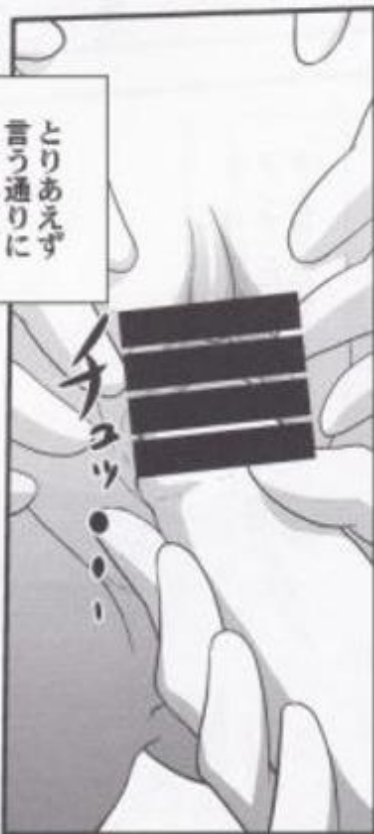
皮が!?



とりあえず  
言う通りに  
してみる

狭いから  
周りの肉に  
引っ張られて

……入って  
きたクマ……



チュツ……







気のせいか  
くま姉ちゃんが  
いつもより優しい

上の空で話してた時に  
結婚の約束でも  
しちゃったのだろうか？

ん…

んっ

ハア

クマッ

あまじ…  
痛くないっ

ズリッ  
ズリッ

から

ズリッ

情れて…

くま姉ちゃんが  
動く度に襲ってくる  
強すぎる刺激で  
ソワソワ腰が痺れる

また膣内射精が来たけど  
くま姉ちゃんは動く事に  
集中しているようだ

ズリッ  
ズリッ

ズリッ  
ズリッ

ズリッ  
ズリッ

来たっ…

クマッ

僕はもう無言で  
くま姉ちゃんのおっぱいだけを  
目で追っていた

くま姉ちゃんを  
観察していて  
気が付いた

くま姉ちゃんも  
動いている内に  
気持ち良くなるらしい

僕が腔内射精の時に  
凄く気持ち良いのと  
同じように

ごっ  
ぱん

くまっ

ハア

ハア

やっとの事で  
くま姉ちゃんが  
満足した頃には

「もし誰かが外を  
通りかかったら  
くま姉ちゃんのお  
っぱい丸見えだな」

ボイトの上か  
少年の精子で  
どろどろくまっ

どろ

などと  
軽く現実逃避  
していた





秘密基地の奥に  
連れ込まれて

一日中  
チンチンを  
舐められた

「昨日のアレは  
夢だった？」  
一瞬思ったが

何時も通りの  
くま姉ちゃん

翌日

…この辺りから僕は自分の事を「くま姉ちゃんにとって特別な存在」だと思い始め勝手に価値のある存在なのだと勘違いしはじめた…



そのまま  
パンツを  
抜かした

なので  
ある日

たまたま先に来た  
くま姉ちゃんが  
昼寝してたから

外で遊ぶ時間が減り  
代わりに秘密基地で  
くま姉ちゃん「が」  
僕で遊ぶ事が増えて  
少し不満だった

ムッヤ



無防備なおっぱいを舐めたり吸ったりじっくりと堪能する

くまねえちゃんはおソコもきれいだがおっぱいが一番好きだ



くまねえちゃんが好物(?)らしいのでとりあえずチンチンを入れてゆっくり動かす

しかし真の目的はおっぱいだ

つぶつぶ



寝ているのを承知でくま姉ちゃんに語りかけてみる

大好きだよくま姉ちゃん...  
...ごめい遊んでくれてありがとう...

心なしかくま姉ちゃんからキュウキュウと締め付けられる



射精しそうになつたらくま姉ちゃんを抱き締めつつ動きを止める

波をやり過ごしたらまた動き出して同じ事を続ける



でも多分、途中から  
くま姉ちゃん  
起きてたと思う

帰る時間になって  
起こさないように  
やっと一度だけ  
膣内射精した

だって後日  
先に来た僕が  
寝ていたら

何者かに勝手に  
搾り取られる事が  
何度かあったから

夏休みが終わって  
僕が地元へ帰る日

引き止めもせず  
まるで軍人の様に  
あっさり別れを  
受け入れてる  
くま姉ちゃんに対し  
僕は啞然に帽子を  
投げ付け言った

…僕が居なくなっても  
くま姉ちゃんは別に  
気にならないんだね

…この帽子は  
秘密基地の代金に  
買っておくクマ

くま姉ちゃんとの  
この夏の思い出全てを  
その本人から無価値だと  
言われた気がしたからだ

…この別れは  
幼い僕には多過ぎる  
経験値となった



…あの夏休みから  
何年経っただろう

人見知りの激しく  
無口で扱いの難しい  
そんな少年時代を  
過ごした僕も今や

血縁の誼だが  
とある鎮守府の  
後任を任された  
海の男である

その鎮守府の  
所在地を訪れるのは  
今回が2度目だ

僕の初恋であり  
今でも想い続ける  
彼女と出逢った  
あの港町だった

…任務でなければ  
再び訪れる度胸は  
なかったが…



…今にして思えば  
彼女は当時の僕には  
過ぎた女性だった…

「善人」として出会い  
「悪友」として集い  
「親友」として過ごし  
「恋人」として交わり  
「大人」として別れた…

…もし別れの時に  
僕も大人として  
振舞っていたなら  
その後もまた彼女に  
逢う機会が…

少年

そんな所で  
何してるクマ？



もしかして、また  
秘密基地クマ？

だったら今回も  
良い所を紹介  
するクマ…

今回の物件は  
設備も充実！

しかも部下まで  
付いて来るクマ！

面倒な事も  
それなりに  
あるけど…

くま球磨に  
任せる  
クマ！

# あとがき

どうも、御久しぶりです、あきかんです。  
前に本を出してから随分と間が開いてしまいましたが、生きてます。

実はこの本の表紙を描き上げたのは半年以上も昔の事なんですが  
その時点では「TV版の艦コレがスタートしたら、球磨の出番とか有るかな？」と  
ネタ探し満々だったのに、まさか、逆にネタが浮かばなくなるとは予想外でしたわ…。

TV版を気に入ってる方々からは怒られそうですが  
「あの主人公の人は誰得なんだろう？」とか「何を見せたいか分からないシナリオ」とか  
「飛んでくるユニット装着シーン(笑)」とか…

元のゲームでは後発スタートだったので、正直「先行組の会話が雲の上過ぎる…」と  
へこたれていたのから、アニメの方は「今度はリアルタイムで参戦だ！」って感じて  
期待し過ぎたのかも知れませんなあ。

まあ、一番ショックだったのは「アニメ版・球磨の出番がほとんど無い!？」です。  
俺、イラストの見た目的には島風がストライクだったんですが  
キャラの性格(キャラボイスの方向性)的には球磨が一番でして。  
ゲーム序盤で球磨をゲットした後、何となく秘書艦にしたら惚れ込んでしまい  
島風をゲットした後も球磨が不動の秘書艦を勤めております。  
そんな思い入れのある「球磨の出番」が…とほほ。

というワケでTV版での扱いはスパッと忘れ、本作品での球磨は性格は  
ゲーム中のキャラボイスで妄想したイメージを独自に膨らませたモノです。  
いやあ…TV版のせいで艦コレのイメージが崩れて、時間がかかりましたよ。





部屋を「あの日の  
秘密基地」任様に  
改装してみた

って、どうやって  
あの秘密基地を  
再現したクマ!?

彼女とやり直すなら  
相應しい舞台を  
整えたかったのだ

別に「磯とカビの匂い」  
「廃屋」ポット  
「小柄な女子」「熊」等で  
性的に興奮する  
僕の嗜好とは無関係です

まさかここで  
「秘密基地ルール」を  
発動させる気クマ!?

※球磨って一応お姉ちゃん属性なので、年下の面倒見が良さそうなので小学生くらいの男子と組ませたら上手に遊んでくれる気がする。んで、薄い本的な展開をさせたのが、お手元の本で御座います。

発行 くれじっと  
発行日 2015年 8月16日  
印刷所 しまや出版 様  
連絡先 [akikan@mouse.interq.or.jp](mailto:akikan@mouse.interq.or.jp)  
無断転載厳禁

※この画像は本編とは  
関係ありません



サークル  
くれじっと